

【参考】「ひろしまLMO」の取組事例

事務局員の雇用による事務負担軽減や ICT 強化

(上温品まちづくり協議会)

地域の課題

事務作業ができる人材及びホームページや SNS を活用した情報発信の取組において専門的な技能を有する人材の確保が課題となっている。

【取組内容】

- 「ひろしまLMO」が雇用主となり、子育て世代を含めた事務局員を4名雇用

<労働条件>
・時給 1,100 円、週5日、9時～17時の間のシフト制

- 事務局員が常駐し、事業の進行管理や会議資料の作成、各助成金の申請・管理などを行うことで、「ひろしまLMO」の役員に過度な負担がかかることなく運営可能
- これまで各団体が実施していた事業を「ひろしまLMO」主催で実施することにより、各団体の事業運営や経費負担が軽減
- 広報誌やホームページ、インスタグラムの開設による情報発信の強化及び継続的な運用により、地域活動への参加者の増加に期待



LMOを簡単に知りたい方

4分

LMOの概要を挿入しています

▶ YouTube



LMOを詳しく知りたい方

22分

LMO設立に向けての事務の流れやLMOへの支援内容等を紹介します

▶ YouTube



編集後記

広報委員の吉村大輔です。

令和7年度は広島型地域運営組織「ひろしまLMO (エルモ)」の設立に力を入れていきます。QRコードでの動画紹介があります、多くの方にひろしまエルモを知って頂ければと思い、

この度紹介させていただきました。

(記：吉村 大輔)

広報委員：島田福介・清水成樹・吉村大輔・村上堅造・河野 貢・林 照一・花木耕一

みんなで作る ささえあいのまち

千田地区社協だより

[発行所] 千田地区社会福祉協議会 広島市中区平野町11-10 [発行人] 村上 堅造 [発行] 2025年3月



令和7年1月実施 第36回千田ふれあいとんどの代表世話人をさせて頂きました高木と申します。

本年のとんども晴天に恵まれ、滞りなく終えることができたことをまずは皆様に感謝申し上げます。

コロナ禍が終わり2年目の開催でしたが、賑わいが戻ったのを実感でき、街の皆様の笑顔を見ることができました事が何よりもうれしく思いました。

これからも、千田地区の益々の発展をお祈り申し上げます。

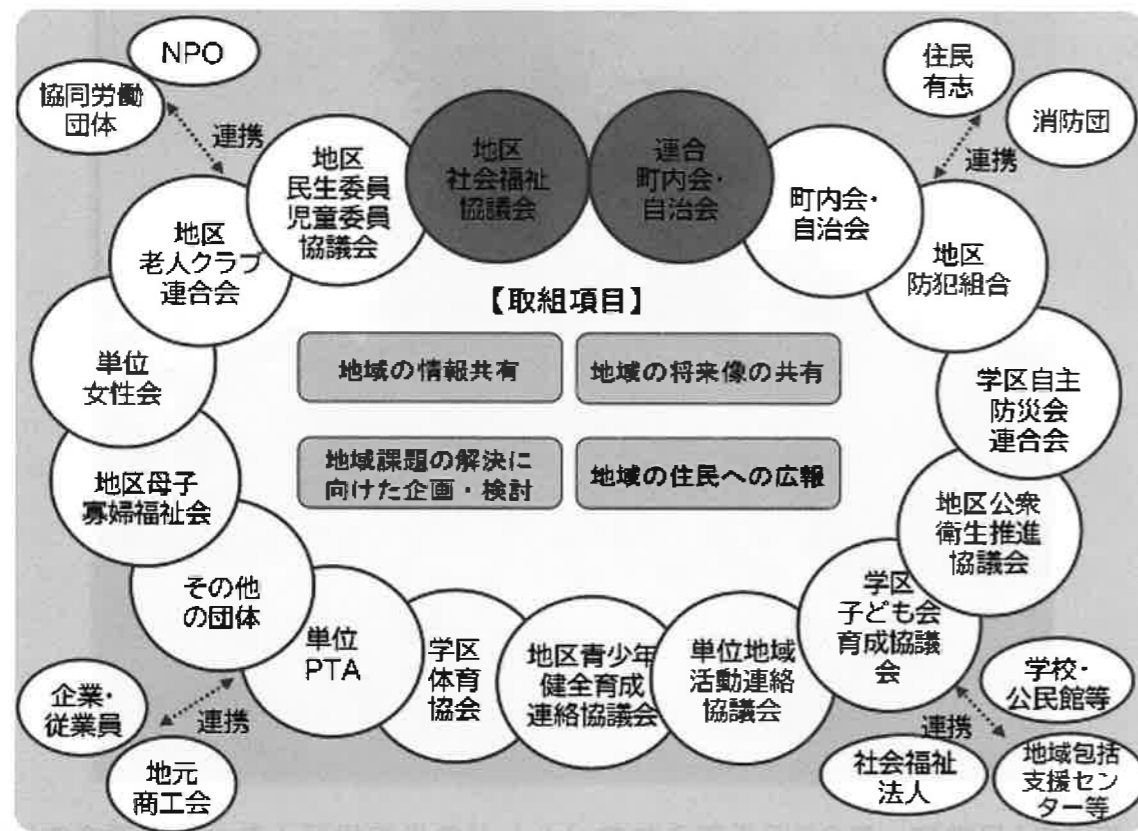
千田ふれあいとんど実行委員長 高木 克敏

ひろしまLMOとは

地域の関係者が、楽しさややりがいを感じながら、市民主体のまちづくりを進めることができるよう、地区社会福祉協議会や連合町内会・自治会等が中心となり、地域の実情に応じて、地域団体やNPO、協同労働団体、企業、商工会、住民有志など、多様な主体と連携しながら、概ね小学校区を活動範囲とし、小学校区内のすべての住民を対象に活動する、地域を代表する組織として、地域の情報・将来像の共有や、地域課題の解決に向けた様々な活動の企画・検討、広報等に取り組む組織づくりを提案しています。

本市では、地域が主体となって設立したこうした組織を広島型地域運営組織「ひろしまLMO(エルモ)」(以下「ひろしまLMO」といいます。)として認定し、地域の実情に応じた様々な取組を継続的に支援しています。

(LMO : Local Management Organization (地域運営組織) の略。)

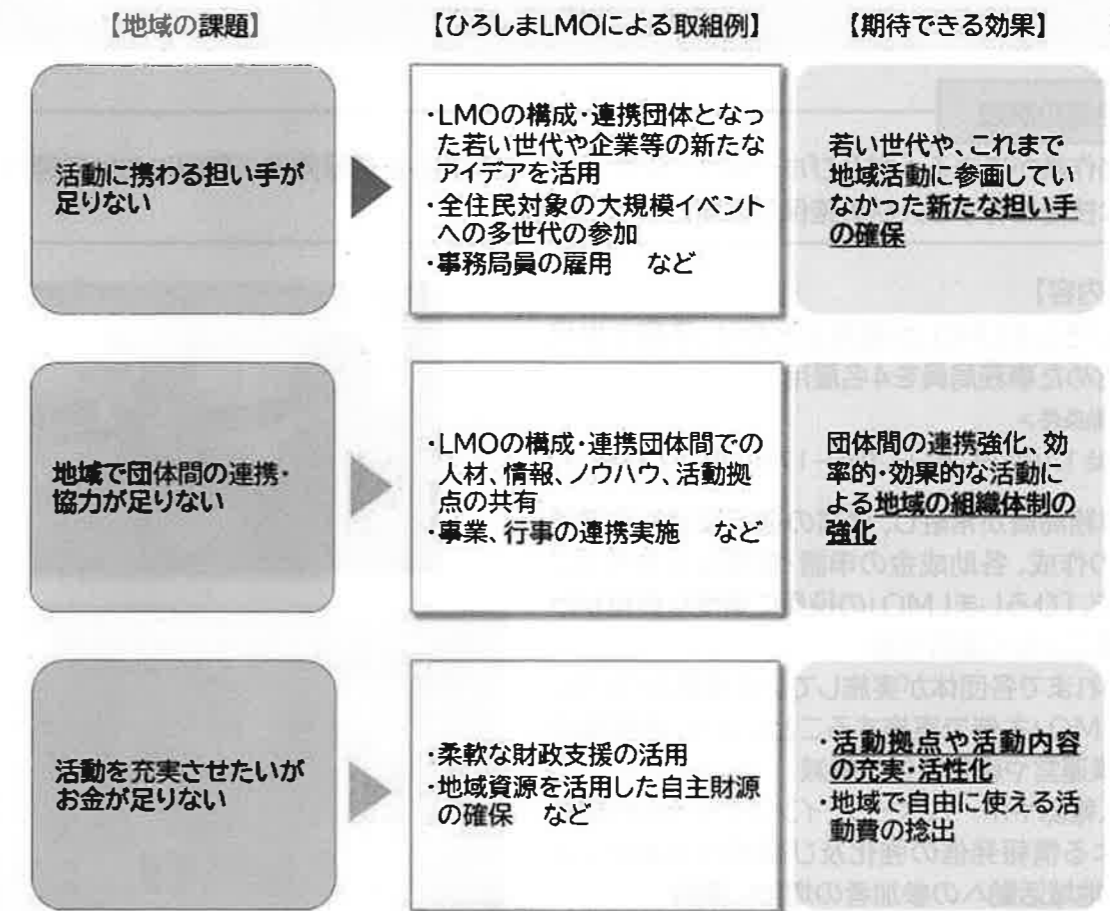


※構成メンバーは地域の実情に応じて決定

ひろしまLMOのイメージ

ひろしまLMOの設立により期待できる効果

地域活動に取り組む上で課題となっている担い手不足などが、「ひろしまLMO」で連携してまちづくりを進めることで次のような効果が期待できます。



ひろしまLMOとして認定されるまでの流れ

地域内での話合いの結果、「ひろしまLMO」づくりに取り組むことが決まったら、「ひろしまLMO」づくりに取り組む地域として応募をしていただきます。

次に「ひろしまLMO」の設立に向けて、地域の課題や将来像について話合い、組織体制や活動拠点の検討、まちづくりに関する事業計画等の作成に取り組み、設立総会を開いて地域の承認を受けます。

そして、総会で承認された認定申請書類の内容を本市が確認後「ひろしまLMO」に認定します。

